人手不足×出所者 注目

刑務所で雇用セミナー 企業担当者5倍に

㊨刑務所に服役後、福岡丸福水産で働く40代男性＝6月、福岡市　㊧出所者の採用について語る「ビーエイトシー」の島野広紀代表＝5月、同市

就職件数は横ばい 定着課題

人手不足が深刻になる中、刑務所の出所者に企業が注目している。法務省が全国の刑務所などで開く雇用支援セミナーは近年、企業担当者の参加が4～5倍に増加。一方、国の就労支援を受けた出所者の就職件数はほぼ横ばいが続く。求人企業と求職側のマッチングが不調に終わっているとみられるほか、職場定着も課題になっている。

時短でならし 個別対応が鍵

6月、福岡市の水産加工会社「福岡丸福水産」。40代男性が慣れた手つきで、工場の機械を掃除していた。入社から1年半。魚をさばく作業などを担う。

男性は覚醒剤取締法違反罪で服役していた。採用直後は30年続けた覚醒剤をやめる重圧や睡眠不足、初めての業務への不安に悩まされた。会社の提案で、まずアルバイトとして1日4時間働き、後に正社員に。「最初からフルタイムだったら、また薬を使っていた」

先輩の指導は根気強く、休日も取りやすいという。「会社に迷惑がかかるけん、もう刑務所には戻りたくない」と涙ぐんだ。

同社の運営グループ「ビーエイトシー」（同市）は、2024年11月から出所者17人を採用している。きっかけはグループの食品製造加工3社の人手不足。求人を出しても5～6年、ほとんど応募がなく、出所者に目を向けた。

島野広紀代表(54)によると、最初に雇った3人は窃盗などの罪を再び犯して退職。「『とりあえず雇う』では続かない」と感じた。出所者の多くは入社直後、環境の変化からか、睡眠不足や下痢などの不調を訴えることにも気付いた。

そこで時短勤務などの「ならし期間」を設定。雇用をアルバイトに切り替え、慣れれば正社員に戻したこともある。発達障害の傾向があれば受診を促した。グループはもともと障害者の就労支援を手がけており、福祉サービスの提供や住居支援、職業訓練を施すノウハウも生きた。

島野さんは「出所者雇用を始めてから、人手不足はだいぶ改善された。会社としては長く働いてもらいたいので、個々人に合った働き方や業務を一緒に探したい」と語る。

法務省によると、出所者雇用を巡っては、全国8矯正管区に置く就労支援拠点「コレワーク」が刑務所などで企業向けセミナーを開いている。参加者は20年度が140人で、23年度は740人、24年度610人。長崎刑務所や宮城刑務所では、企業側の要望で追加開催も実現した。

ただ、国が個別支援した出所者の就職件数は20～24年度の各年度、3千～3400件台でほぼ横ばい。厚生労働省は一因を「高齢者や福祉支援が必要な人の割合が増えている」とする。再犯や依存症、精神疾患の懸念が消えないほか、人手不足が建設や運輸業で目立ち、出所者のニーズと合っていない可能性もある。

法務省によると、全国で24年、刑事施設に入った再犯者のうち7割超は無職だった。就労は再犯防止につながる面もある。

福岡刑務所（福岡県宇美町）で5月にあったセミナーには、人手不足が深刻な建設や運輸、製造業など49社67人が参加した。主催した「コレワーク九州」の島本拓弥事務官は「人手不足に悩む会社に、出所者を雇用の選択肢に入れてもらえれば。定着にもつながるよう、施設内でのフォローアップに取り組みたい」と述べた。（坪井映里香）

丸山泰弘・立正大教授（刑事政策）**の話**　出所者の採用や、どのような待遇で受け入れるかは社長の意識による部分が大きい。職場定着についても、本人が社会に無理なく溶け込めるように短時間勤務を取り入れるなどの「ソフトランディング」が重要で、職場の理解と経験が必要だ。出所者雇用に関心を持つ事業者が不安なく採用し、かつ孤立しないように、国は事業者間でノウハウや悩みを共有できるような場を積極的につくるべきだ。

ノウハウの共有を

JR貨物社員 収賄疑い逮捕

下請けに便宜 90万円受領か

福岡県警

JR貨物が発注する設備
の修繕工事で便宜を図った
見返りに現金を受け取った
として、福岡県警は23日、
JR会社法違反（収賄）容
疑でJR貨物九州支社社員
の財前言一容疑者(62)＝福

認否を明らかにしていない。

財前容疑者の逮捕容疑は
2024年5月～25年9月
ごろ、JR貨物九州支社が
発注する電気回線や照明な
どの設備修繕工事で、元請

者は電気工事の立案や元請け業者を選定する権限があり、工事の予定などの情報をイーグル社側に提供。同社が受注を希望した場合、下請けや孫請けとして使う
ように元請けに推薦し、河

件超受注していたという。財前容疑者は現金の要求を繰り返していたとみられ、県警は受け取った総額が数百万円に上るとみている。

JR貨物は国が所管する特殊会社で、鉄道を使った輸送事業を行う。1987年の国鉄の分割・民営化で分かれたJR各社と異なり全国1社とされ、職務の公共性などから同法で収賄の適用対象とされている。

JR貨物を巡っては15

う「台湾祭」の会場
＝23日午後、福岡市・天神（撮影・中村太一）

異国情緒を満喫

5連休の最終日

福岡市・天神

11年ぶりの5連休となった秋の大型連休「シルバーウイーク」最終日の23日、九州各地は晴天に恵まれ、行楽地は大勢の人でにぎわった。

福岡市・天神の市役所西側ふれあい広場では、台湾の「夜市」を模した「台湾祭」が開かれ、訪れた人たちが台湾グ
ルメに舌鼓を打ち、獅子舞の

9歳の自転車と接触

飲酒運転疑い男逮捕

福岡、他でも摘発相次ぐ

福岡県内では22日夜から23日にかけ、飲酒運転の逮捕者が相次いだ。子どもが乗った自転車に接触する事故を起こしたケースもあった。

県警大牟田署は23日、道交法違反（酒酔い運転）の疑いで、大牟田市千代町、自称調理師岩本伸一容疑者(61)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は23日午後5時ごろ、近くの路上で酒気を帯びた状態で乗用車を運転した疑い。

県警によると、近くに住む男児(9)が運転する自転車と接触し、自ら110番した。調べに「事故の1時間ほど前に500㍉㍑の缶ビール1本を飲んだ」などと供述。男児は胸や腕に痛みを訴えているという。

県警はこのほか、同容疑で、鞍手町中山の自称派遣社員辻孝志容疑者(51)と、みやま市瀬高町上庄の自称会社員宮本悠太容疑者(30)を逮捕。北九州市と大牟田市、久留米市で、同法違反（酒気帯び運転）容疑でそれぞれ1人を逮捕した。

福岡市西区では、3歳男児が死亡する飲酒運転事故が起きたばかり。福岡西署は23日、現場近くで一斉取り締まりを実施した。

取り締まりでは、署員ら17人が県道に並び、午前11時から約2時間、通過する車両を一時停止させてアルコール検査を実施した。同

飲酒運転ゼロへ
TEAM ZERO FUKUOKA

無料法律相談
他の法律事務所で断られた方もご相談ください。
母子感染の方もご相談ください。
来所不要。電話・郵送だけでも手続できます。
下のような方もご相談下さい
●本人や母親のカルテが残ってない
親やきょうだいもB型肝炎
●親やきょうだいの検査ができない
0120-004-931 キューサイ
受付時間 9:30～17:30（年中無休）
※土・日・祝日も電話で受け付けています。
HPはこちら

本体 工事費 処分費 全てコミコミで半額以下！※1
Panasonic 全自動おそうじトイレ
アラウーノ S160［タイプ1］
泡洗浄
配管セット 床排水標準タイプ
XCH1601WSL
便器（CH1601WSL）＋配管セット（CH160F）
壁リモコン付き